

2023年7月号のテーマは！ 電気代削減に最適な自家消費型太陽光発電のメリットとは

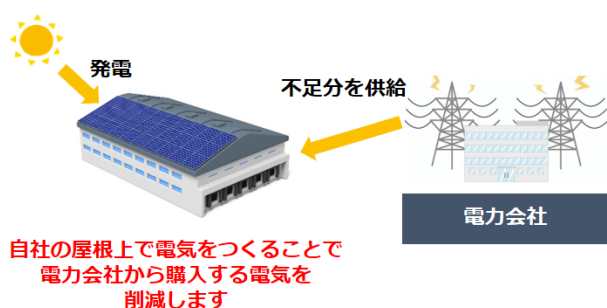
自家消費型太陽光発電とは

自家消費型太陽光発電とは「ソーラーパネルを屋根または空いた土地等に設置し、発電した電気を自社で使用すること」です。

自社の工場や事業所などの「屋根の上」に太陽光パネルを設置するモデルを「オンサイト自家消費設置モデル」といいます。

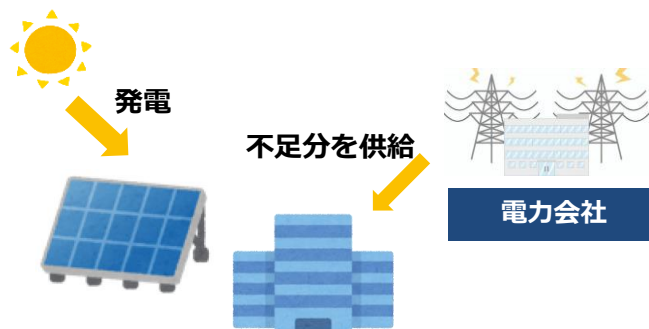
一方で自社の敷地外など離れた空き地などに設置するモデルを「オフサイト自家消費設置モデル」といいます。

オンサイト自家消費設置モデル



自社の工場や事業所の屋根上に
太陽光パネルを設置するモデル

オフサイト自家消費設置モデル



自社の敷地外の空き地などに
太陽光パネルを設置するモデル

太陽光発電と聞くと「投資」のイメージが強い方もいらっしゃるかと思います。FIT制度（固定価格買取制度）が始まった2012年度当初は、10kW以上の設置容量で買取価格が40円/kWh+税と、売電収入のメリットが大きくありました。

しかし、売電単価が年々減少しており、2023年度は10kW以上の設置容量で10円/kWhと、以前ほどのメリットを享受することが難しくなっています。

発電した電気を自社で使用する自家消費型太陽光発電であれば、**電力会社から購入する電気の量を減らす**ことができるため、近年急騰している電気代への対策として注目が高まっています。

電気代削減には、省エネ設備の導入や新電力への切り替えなどがありますが、これらに比べて**自家消費型太陽光発電の導入はより大きな削減効果**を発揮することが可能です。



自家消費型太陽光発電を導入する3つのメリット

①電気代削減

購入価格	1,600万円
年間発電量	84,150kWh
容量	75kw

購入電気代単価 (四国電力業務電力)	27円/kWh
再エネ賦課金	1.4円/kWh

【電気代削減金額】 $(27\text{円/kWh} + 1.4\text{円/kWh}) \times 84,150\text{kWh}$

= **2,389,860円/年**

【投資回収年数】 $16,000,000\text{円} \div 2,389,860\text{円} =$ **6.69年**

上記の条件で自家消費型太陽光発電を導入した場合、約6年半の投資回収年数を経た後は、年間約140万円の電気代を削減することが可能です。

②非常用電源として活用

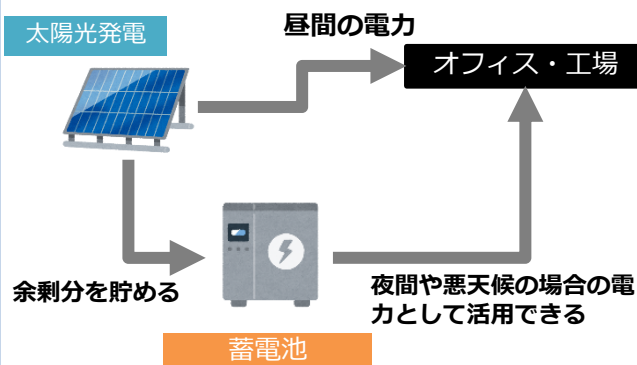
災害時などに停電が発生してしまった場合でも、自家消費型太陽光発電を導入することによって、非常用電源を確保することができます。

南海トラフ地震などの巨大地震が発生した場合、停電から完全に復旧するまでに**1週間以上**を要することが予想されています。

情報収集や外部との連絡手段を確保するためにもおすすめです。

また、蓄電池を併用すれば昼間は太陽光発電で発電した電気を利用し、余剰分を蓄電池に貯めておくことで、夜間や悪天候の場合であっても電力を確保することができます。

《太陽発電と蓄電池導入の場合》



③企業価値向上



政府は2050年カーボンニュートラル達成に向けて様々な取り組みを行っており、大企業を中心に脱炭素へ取り組む企業が増加しています。それに伴い、脱炭素に取り組む企業と取引を行う**中小企業についても、脱炭素に取り組むことを求められるケースが増加**しています。

自家消費型太陽光発電で発電した電気は、二酸化炭素の排出を伴わないため、クリーンなエネルギーとして扱われています。

そのため自家消費型太陽光発電に取り組む企業は、取引先や投資家、地域住民などから高い評価を得て、業務を有利に進めることができます。

自家消費型太陽光発電を導入することによって、電気代削減だけではなく、非常用電源や企業価値の向上のために大きな効果を発揮することができます。

自社の場合どれだけ電気代を削減できるか気になる方は、ぜひお問い合わせください！

 **未来環境エネルギー計画** 株式会社

☎088-660-6667

受付時間

9:00～18:00（休業日：土日祝）

住所：〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字川久保87番地1
FAX：088-660-6668
Email：support@mirai-ecoene.com 担当：亀谷

▼徳島で自家消費型太陽光なら未来環境エネルギー計画▼

未来環境エネルギー計画

検索

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

